

議長／8番 石丸議員

石丸議員／ありがとうございます。

夢はあるということですね。

最後に、情報公開についてお伺いします。

現在の公文書の情報公開に向けて、公文書の電子化、スキャン作業をしていますが、電子化した作業について、電子化した文書を、格納するサーバーなどのセキュリティの対策は、どのようにお考えかお伺いしたいと思います。

議長／宮下つながる部長

宮下つながる部長／セキュリティの対策ということで、ご質問でございます。

原則的に、閉鎖されたイントラネットといたしますか。

組織内では、閉鎖された IT 環境を作るというのが一番根本原則となっております。

その閉鎖系の中に外からアクセスするという場合が発生する場合については、いわゆる鍵を掛ける。

セキュリティの鍵を掛ける。

そんな機能をプログラム上、入れ込むと。

そういう原則になってます。

議長／8番 石丸議員

石丸議員／今回、情報公開についてということで、そのスキャンの問題を質問しました。

前回、市長さんが、Facebook か何かで、自由に情報公開…、自由に情報をとられるようにしたいと。

そのときは、エバーノートのお話をされました。

エバーノートのお話じゃないということで、そういう、公開する文書に対して、公開するにあたって、電子文書について、この文書が正確であるかどうかを担保するために電子書面という制度があると思います。

今回の公文書の電子化は、原本をスキャンし保存したり、公開する理由ということでございますでしょうか。

議長／樋渡市長

樋渡市長／なんで、われわれがやろうと思ったのか。

2つあります。

1 つは、東日本大震災で、これは山口昌宏議員たちと、陸前高田にいったときに、書類が流されたりして、とても言葉が適切かどうかかわからないけど、使い物にならない状況になっていて、行政というのは、ペーパーが至上主義なんですね。

どういう契約をしたかとか、いっさいがっさい流されている。

流されていないにしても、インク等がにじんで、使い物にならない状況は、江原議員さん、山口等議員さん、上田議員さんなども、みなさん思われていると思います。

実際に行かれた方は思われていると思います。

そういうことにならないように、セキュリティ的なものとして、災害から守るためにどうするかといったときに、電子化しかない。

それも複数用意する必要があると。

1 カ所サーバーに入れて置いて、それがダウンを起こすと、つかい物にならないこともあるので、複数用意する必要がある。

公開する必要があるかどうかは、別の議論になると思います。

1 番私たちが困っているのが、昭和 38、39 年の資料を集めたいと思っていて、何かというと、当時、武雄市役所を作るときの書類が何も残っていないんです。

仮に残っていたとしても、どこにあるかわからないんですよ。

どういう経過をたどって、いろんなことを知っている人から聞くことはありますが、残っていないばかりに、先人の知恵が借りられないということになっています。

こういった庁舎の作業を、私どももやってますし、議会でも精力的にやったださっていますが、これをきちんとペーパーに残して、これは公開するべきと思います。

議会、市役所のみならず、公開すべきだと思いますので、すべからず、公開するべきと。

公開出来ないものは、個人情報が入っているものとか、制約があるものがあります。

これについてはしっかりと守っていく。

保存と公開はセットになっていませんが、私が知る限り、ほとんどの文章は公開できます。

個人名が入っていることはないので、行政文書には。

とくに企画系のものにはないです。

くらし部系ものとか、特にくらし部は多いですが、そういったものを公開するのはありません。

しかし、電子化して、保存をするというのは、先の、東日本大震災からわれわれが見聞したことからすれば、それは残すことだと思いますので、相互に分けて議論して。

IT 特別委員会で、議論してほしいと、このように思っております。

議長／8 番 石丸議員

石丸議員／現在のところ、電子署名というシステムを導入する考えはおありでしょうか。

議長／宮下つながる部長

宮下つながる部長／電子署名、なかなか聞き慣れない言葉ではありますが、平成 13 年の 4 月から施行されています。

電子署名法というものです。

法律の中身ですが、一定の要件を満たす、電子署名が行われた電子文書等は、申請に成立したもの、という表現になっています。

本人の意志に基づいて作成されたもの。

わかりやすく説明すると、先ほどセキュリティの鍵と申しましたが、鍵の認証を与えるというだけのものです。

ですから、情報公開の、先ほど申した個人情報保護の対策になるということの、法律ではございません。

結論的に申しますと、電子署名を導入する考えはありません。

議長／8 番 石丸議員

石丸議員／電子署名を取り入れるつもりはない、という答弁でございましたが、ものの考え方ですが、電子化したデータを、電子署名をした上で、これが原本となるというふうに、将来的にして、公開したほうが私はいいんじゃないかと思っておりますが、現在のところ考えがないということなので、今現在、武雄市は、いろんな方面から注目されて、いろんな問い合わせや情報の開示が行われていると聞いています。

こういうことに対して、スムーズに取り組まれて、大変そういう問い合わせが来ていると大変と思いますが、問い合わせに対してスムーズに行われていることを期待してまして、今回の質問を終わります。

議長／以上で、8 番 石丸議員の質問を終了させていただきます。